

検査機器ニュース

(1) 2011年(平成23年)7月5日(火)

(毎月5・20日発行) (昭和34年12月26日第3種郵便物認可)

第1213号

発行所 産報出版株式会社
東京本社 東京都千代田区神田佐久間町1-11
座席久間ビル (〒101-0025)
TEL 03(3258)6411(代表) FAX 03(3258)6430
開設支社 大阪市浪速区元町1-8-9
(〒556-0010)
TEL 06(6633)0720(代表) FAX 06(6633)0840
〔請求料 1年18,620円(含消費税)〕
ホームページURL: http://www.sanpo-pub.co.jp

約50人が受講

阪上理事長

同協会は東日本大震災の復興支援活動を積極的に展開。特別講座の第一弾となった今回は、東日本大震災のチャリティーセミナーの位置付けで収益金を寄付する方針を明らかにした。

復興支援で収益金寄付



復興支援で収益金寄付

日本赤外線サーモグラフィ協会(阪上隆英理事長・神戸大学大学院モグラフィの基礎と応用技術)を開催した。サーモグラフィの基礎に関する講義と9種類の実験・応用事例解説の2部構成が関心を集め、自動車、建築など広範な分野から約50人が受講した。7月29日に第2回(大阪)、9月12日には第3回(東京)を計画している。

初の特別講座 7月大阪、9月東京で継続開催へ

実験中心に応用解説

日本赤外線サーモグラフィ協会



講師を務めた阪上理事長は、ガス検知や建築物の非破壊試験など受講者の非破壊試験などを企画して、このう

ととともに同協会の復興支援に関する取り組みにも触れ、「今後は実験装置に磨きをかけ、もっとわかりやすい面白い実験を企画したい」と抱負を語った。

特別講座では、第1部

②回転機器の異常検出③耐火物・断熱材の異常検出④ガス検出⑤放射率おもて非破壊試験のみの実験に加え、内外の応用事例を多数紹介したことでも、主に状態監視と

基礎について講義。第2部では、主に状態監視と非破壊試験に関する九つの実験を企画し、このうち八つは実際に模擬試験体を持ち込んで赤外線カメラによる画像をモニタで披露した。

①電気設備の異常検出

の画像を実際に見ることができて参考になった」などの感想が聞かれた。

会場の一角にはサーモグラフィメーターカー(NEC AVIO赤外線テクノロジー、フリアーシステムズジャパン)の協賛による製品展示コーナーを設けた。

(建築物の外壁タイル)
建築物外壁やコンクリート構造物の剥離診断などを模擬試験体の測定を通じて体験



(回転機器)
状態監視の熱画像例



特別講座の第2回は7月29日に大阪YMCA国際文化センター(大阪市西区)、第3回は9月12日にゆうばり(東京・品川区)での開催を予定している。

よび液面レベル検知⑥非

破壊試験(建築物)⑦同

(コンクリート)⑧同

(複合材料)⑨応力測定